

平成30年度予算案の概要

1. 予算の基本的考え方

平成30年度は、区政運営の最高指針となる基本構想を策定し、本区の明るい未来を切り拓いて行くための、新たなスタートを切る年です。

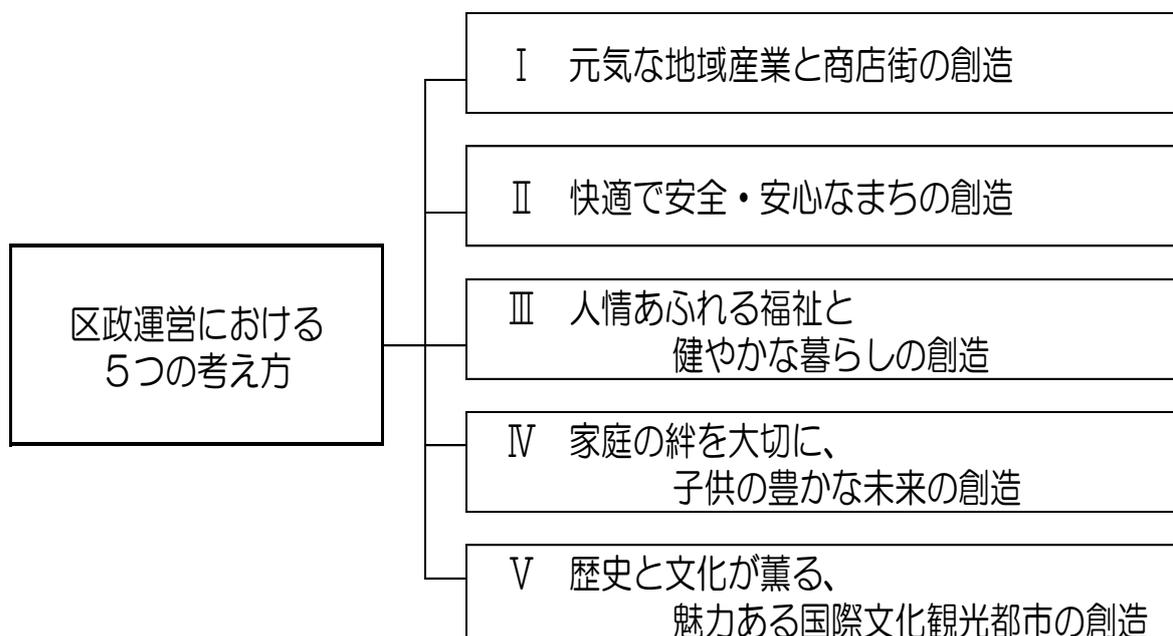
国は、経済見通しについて、海外経済の回復が続く下、雇用・所得環境の改善が続き、経済の好循環が更に進展する中で、「民需を中心とした景気回復が見込まれる」とする一方、「海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響等に留意する必要がある」との認識を示しています。

区の財政状況は、歳入では、特別区税や特別区交付金の増を見込むものの、国の税制改正の大綱に、地方消費税の清算基準の見直しが盛り込まれるなど、今後の財政運営への影響が懸念されます。

一方、歳出では、待機児童対策を始めとする子育て支援や、高齢者・障害者へのサービス、低所得者への支援、区有施設の長寿命化への対応など、様々な行政需要が増加傾向にあり、予断を許さない状況です。

平成30年度予算は、編成に先立ち「予算編成方針会議」を開催し、区政の課題や財政状況などについて全庁的な意識の共有化と庁内議論を深めました。

それらを踏まえ、江戸を引き継ぐ歴史と文化の発信やおもてなしのまちづくり、誰もが安心して暮らせるまちづくり、障害者の文化・芸術・スポーツ活動の推進など、「躍進台東 新しい台東区」の実現を力強く押し進めるとともに、これまで取り組んできた各施策を着実に実施できるよう、予算配分を行っています。



2. 平成30年度 各会計予算

一般会計予算は、歳入歳出それぞれ1,006億円となり、前年度と比較すると18億円、1.8%の増となっています。

(単位:千円、%)

会計名	30年度	29年度	比較	増減率
一般会計	100,600,000	98,800,000	1,800,000	1.8
国民健康保険事業会計	24,017,000	28,063,000	△ 4,046,000	△ 14.4
後期高齢者医療会計	4,814,000	4,564,000	250,000	5.5
介護保険会計	15,942,000	15,789,000	153,000	1.0
老人保健施設会計	120,210	120,240	△ 30	△ 0.0
病院施設会計	277,180	319,410	△ 42,230	△ 13.2
合計	145,770,390	147,655,650	△ 1,885,260	△ 1.3